



④ ベロキラプトルの爪

この化石は何でしょう？ 牙？
 プー。歯？ プー。爪？ ピン
 ボン。へえ！

さて、みなさんはどう思いましたか？ ほとんどの人が牙、あるいは歯と考えたのではないでしょう。でも、これは小型肉食恐竜の足の人さし指についていた爪。しかも生きていた時はつやつやした「さや」でおおわれていたのです、もっとも長かった。恐竜の名前はベロキラプトル。大型犬ぐらいの大きさです。もしも愛犬の後ろ足にこ

んな爪がついていたらどうします？ 最近までこの爪は殺傷用の武器で、獲物を切りさいて仕留めたと言われていました。ところが10年前、イギリスのマニングさんという研究者が、死んだフタに模型の爪をつき立てて実験したら、とてもそんな殺傷力はないことが分かりました。では、この爪の用途はというと、最近、この爪の持ち主は樹上で暮らしていたのではないかという説があります。爪は、木登りの時に幹につき立てたり、樹上から飛び降りて獲物を押さえつけたりするのに役立ったというわけです。

切りさかれるよりましでしょうが、木の上から飛びかかれたら、やっぱりこわい。こんな恐ろしい連中が絶滅したことに、私はほっとしています。



ベロキラプトルの足指の先についていた爪。長さ約6センチ

木から飛びかかる時使う？



最近中国で見つかったベロキラプトルに近い「チェンユアンロン・スニ」の復元画(AFP=時事)。足指に注目！



ベロキラプトルの右足 = 林原-モンゴル共同調査隊 1994年調査の写真より

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。

2016年8月21日掲載